

町立図書館

町史だより



ペルーに渡ったニシハ ランチュたちの記録

七月十三日、西原町役場町長室に於いて、ペルー出身の仲宗根フェルナンド吉修さん(県系四世・二〇一〇年度西原町海外移住者子弟研修生)から西原町へ、約六〇〇〇点の移民資料の寄贈がありました。



ペルー移民資料の寄贈式
左から垣花武信教育長・新川崔吉氏・上間明町長・仲宗根フェルナンド吉修氏

曾祖父そうそふが翁長出身の仲宗根さんは、十年前に『在秘西原村人会創立四十周年記念写真帳』を見たのをきっかけに、西原関係の移民資料を収集しはじめました。収集に際しては、西原町人

会の方々(約二十三名)の家を一軒一軒回り、写真のスキャンニングや写真の人物に関する情報の聞き取り調査を行ったそうです。

収集した資料は、一九一七(大正六)年から現在までのもので、海外旅券・家族写真・村(町)人会の活動写真などです。現在、仲宗根さんはそれらをもとに、写真集と系図けいずの作成を行っています。

今回、寄贈していただいた移民資料は、ペルーでのニシハラランチュたちの暮らしぶりや、村(町)人会の歩み、戦前期の西原が分かる貴重なものです。これらの資料は、町立図書館で整理



1935年(昭和10)西原村人会

作業を行い、その後、展示会を開催して一般公開しようと考えています。その際には、多くの町民の皆様のご来館をお待ちしております。



1930年(昭和5)西原尋常小学校